

渡辺ハウジングOBの皆様と  
未来のお客様にお届けする

# やすらぎ通信

渡辺ハウジング  
03-3959-8743



庭に植えられた柿の実も、日に日に、その赤さを増していき、まさに実りの秋を実感します。澄みきった秋の空が清々しくなり、できることなら思い切り

スポーツを楽しんだり、美術館、コンサートや旅行にも行きたいところですが・・・コロナ禍でそうもいきません。

せめて散歩をと思い、出掛けると、その足がつい延びるような好い季節が、逆に恨めしく感じられたりもします。



あれもダメ、これもダメと出来ないことを数えるのはやめて、今年は味覚の秋を楽しむことにしましょう。

この時季は、美味しいものがたくさん店頭と並びます。とはいえ、体重管理と健康管理は自己責任でお願いしますね。どうぞお元気で過ごしてください！

## 家を建てる段取り (3)

引き続き、家を建てる際に大切な段取りについて書かせていただきます。どんな段階を経て家が完成するのかを楽しみながらご理解いただければ幸いです。

### 【どんな家を建てたいのか？ みんなで話し合おう】

住まいには、いろいろなスタイルがあります。先ずは、マンションか一戸建てか。一戸建てなら建売住宅か、大まかな形の決まっているセミオーダーか、あるいは希望の家を一からつくっていく注文住宅か？

その中で、「こんな家に住みたい」という希望を固めて住宅会社や設計士などと一緒に作る注文住宅には、家を自分たちの手で作りあげていくという楽しさがあり、時間もとられる分、他のことでは得られない大きな達成感があるものです。

多くの人にとって、自分の家を建てるのは一生に一度の大仕事です



家を建てるにあたっては、何十年もかけて、ローンを支払うことも少なくありません。

家は長い時間をそこで暮らし、やがて年を重ね、子ども達が育っていく場所となるのですから、後悔の無いよう十分に「どんな家を建てたいのか」を考える必要があります。

又、家づくりは家族の絆を深める絶好の機会でもあります。

家族全員で今の住まいに対する不満、そして新しい家への夢を語り合い家族の意思をまとめてみましょう。現実の家づくりにおいては、予算や建築条件など多くの制約があるため、希望が叶わないこともあります。ですから希望や条件に優先順位をつけ、絶対に譲れないことや、無くてはならないと思えることを明確にしておきましょう。

次回に続く

### 「可憐で強いコスモス」

コスモスは、メキシコの高原地帯が原産のキク科・コスモス属の1年草です。

コスモスという名前は、「秩序」「美しい」という意味で宇宙を指すギリシャ語【Kosmos/Cosmos】に由来します。花びらが整然と並ぶ美しい形からそう呼ばれるようになりました。

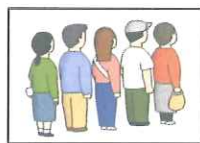
花言葉は、その姿かたちに相応しく「乙女の真心」「乙女の愛情」

更に花の色によって意味が加わり、ピンクは「乙女の純潔」、白は「美麗」「失われた愛」、赤は「調和」です。

細い茎がゆらゆらして一見ひ弱そうに見えますが、実はとても生命力が強い花です。日当たりや風通し、水はけが良ければ土質を選ばないので、育てやすく日本各地で群生地が見られます。



ルールを守ろう



今回は、先日久しぶりに会った友人から聞いた話です。同じような場面を目にした方もいらっしゃるかもしれませんが、お読みください。

この間、昼食にラーメンが食べたくなり、近所では美味しいと評判の店に行った時のこと。予想通り、けっこう沢山の人が並んで順番待ちをしていた。

その内、僕の前に並んでいたオバサンが、携帯電話を取り出し、何やらごそごそ話を始めた。

別に聞く気はなかったのだけれど、どうも別の場所で購入物をしている友人らしき人に、今からラーメンを食べるところだけど来ないか、という誘いらしい。

それから20分程経って、僕の番まであと5人位になった時、オバサンの友人と思われる人が2人現われ、こっち・こっちと呼ぶオバサンの後ろ、僕の前に何のためらいもなく、当然のごとく割り込んできた。



あまりの図々しさに唾然としたが、どうにも腹の虫がおさまらず、

「非常識でしょう、割り込みは」と文句を言ったら、そのオバサン、

「最初から、彼女たちの分もとっていたんです」と平然と言い返された。

呆気にとられて、次の言葉が出ずにいた丁度その時、オバサンの前に並んでいて、そのいきさつを見ていた20歳位の学生さんらしき彼が、僕をはじめ、その後ろに並んで順番を待っていた14~5人の人たちに向かって、ひとことこう言ったのです。

「いやー、お久しぶりです。皆さんの分もとっておきましたから、私の後ろへどうぞ」

それを聞いてオバサンたちは、その学生さんに向かって「なんて白々しいことをするの」と腹立たしげに言った。

そうしたら、後ろにいたサラリーマン風の男性が、「そりゃ、あんたたちのことでしょ」って。パチパチ・・・一同が拍手。

そこへ騒ぎを聞きつけたお店のアルバイト君が出てきて、オバサンたちに決めの一言。

「3人とも後ろへ並んでいただくか、帰っていただくのか決めてください！」

結局オバサンたち3人は、列に並ぶことなく、ブツクサ文句を言いながら帰って行った。見事なチームプレー！



残った皆は、その学生さんとアルバイト君に感謝の言葉を送ったのです。この騒動後のラーメンの味は格別でした。

やっぱり評判の良い店は、味だけでなく店員さんの教育もきちんと行き届いているんですね。お客側も、ルールはきちんと守りましょうね。

「編集後記」

コロナの感染者数に一喜一憂している間に季節は変わり、秋10月を迎えました。

あの夏の猛暑から台風シーズン、そして急激な気温の下降・・・と、自然の変化に身体の調整が追いつきません。皆さん体調は大丈夫でしょうか？

親しい友人たちとも会うことができず、ただ電話やメールで状況確認をする生活が長くなりましたが、体だけでなく心の安定を保つことも大切です。

秋の夜長を利用して、読書で心の栄養補給も良いかもしれません。でも、睡眠は十分にとってくださいね。

今月号もお読みいただき有難うございます。



「やすらぎ通信」をメールでご覧いただけます。ご希望の方は、アドレスをお知らせください。

編集責任者 渡辺 田鶴子